

## 関西支部活動報告

関西支部では、新型コロナウイルス感染症の流行により例年開催しておりました講習会を中止しましたが、オンラインツールを活用することで空間情報話題交換会、支部総会、技術研究発表会を開催することが出来ました。以下に概要を報告します。

### (1) 空間情報話題交換会

関西支部では主要な活動として2ヶ月に1度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。コロナウイルス感染症が世界的に流行する前の2月には、従来通りカンファレンス・ルームを用いた対面開催(写真1)を行えたものの、日本政府による緊急事態宣言が発令された4月以降の開催は延期とし、情勢を見守ることとなりました。しかしながら依然として感染状況の収束が見えないこと、また後述の技術研究発表会の開催を経てWebミーティングツールの運用ノウハウが得られたことにより、12月から完全オンラインイベントとして開催を再開することが出来ました。学会誌 Vol. 58, No. 6 (2019年)に掲載された支部活動報告以降に行われた話題提供は、以下の通りとなっています。

#### ①第103回空間情報話題交換会(2020年2月7日、大阪府立大学・I-site なんば)

「オープンデータ×オープンソース ～流行っているからこそ知っておきたい現状と可能性～」  
朝日航洋株式会社 G空間研究所 大伴 真吾 氏

#### ②第104回空間情報話題交換会(2020年12月4日、オンライン開催)

「衛星搭載型光学センサデータの高品質化と天然色画像生成技術の開発に関する研究」  
産業技術総合研究所・地質情報研究部門 山本 浩万 氏

### (2) 令和元年度関西支部総会(2020年6月26日、オンライン議決)

いわゆる感染第一波は収束していたものの、第二波到来の兆しがあったため、対面での開催は行わずメールを用いた電子資料配布と議決を行うこととなりました。それにともない、従来は総会と同時開催していた特別講演会については中止といたしました。議決には期間を設け、6月18日に総会資料を配布、25日まで議決投票を受け付けたうえで、26日に議決結果を発表・報告いたしました。

総会資料の内容については、令和元年度事業と令和元年度収支決算についての報告があり、令和2年度事業計画案ならびに令和2年度収支予算案を議決対象としました。投票の結果、異議なく了承を得て令和2年度の事業を進めることになりました。なお、令和2年度の支部役員は以下のとおりです。

支部長	吉村充則	東京大学	幹事	内田 修	アジア航測(株)
副支部長	熊谷樹一郎	摂南大学	幹事	田中一成	大阪工業大学
副支部長	須崎純一	京都大学大学院	幹事	植松 恒	京都市教育委員会
事務局長	山野高志	大阪府立大学工業高等専門学校	幹事*	間野耕司	(株)パスコ
幹事長	山下 恵	東京農工大学	監事	村尾吉章	ESRI ジャパン(株)
幹事	山本洋一	国土地理院	顧問	柳川重信	
幹事	廣田安男	(株)かんこう	顧問	木村雅俊	(株)かんこう
幹事	小野 徹	(株)ズームスケープ			
幹事	名草一成	国際航業(株)			

\* 会計担当幹事



写真1 対面形式で開催された第103回話題交換会の様子

### (3) 第16回若手技術者・研究者による技術研究発表会（2020年9月18日、ハイブリッド開催）

本年度で16回目となった「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは40才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。夏に生じた感染第二波が収まらない状況ではありましたが、修士課程の修了を控えた大学院生にとって学外での発表機会は貴重であることから、例年通りの9月の開催を実現すべく感染対策とオンライン化の両面で準備を進めました。

Zoomのウェビナー機能を用いたオンライン発表を基本としつつ、希望する場合は大阪府立大学・I-site なんばと東京農工大学に設けられた2つの会場にて対面発表を行うという、ハイブリッド形式での開催としました（写真2）。結果12件がオンラインで、5件が対面での発表となり、聴講者も含めた参加者は合計59名となりました。発表プログラムや感染対策ならびにハイブリッド形式の詳細については、本誌Vol.59, No.5, pp.233-235の「活動報告」をご覧ください。



写真2 ハイブリッド形式で開催された若手技術者・研究者による技術研究発表会の様子

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページ (<http://www.jsprs-w.org/>) に掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。

最後になりましたが、ZoomのProライセンスとウェビナー機能の費用をご負担いただきました日本写真測量学会事務局の皆様、ならびに初のオンラインでのイベント開催にご理解とご協力をいただきました参加者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。